



谷川さん(左)
松本さん(右)
※いつもは笑顔のおふたりですが、ちょっと緊張気味!

今回からフロアが上がって4階の入居者さんのオフィスにおじゃまです。トップはイタリア生活文化交流協会(サビーナ)さんです。松本さん、谷川さんにお話をうかがいました。

松本さんのお話

松本 僕はね、地域の人にサビーナに関わって欲しいと思っている。日本では、イタリアのことがよく知られていますよね。食文化や音楽、歴史。最近ではスローフードやスローライフ運動、アグリツーリズムなど。これまでは、そういったイタリアの個別文化の表層だけに興味があった。けど、その根っこには、イタリア人の人生観や人間観があるんです。

地域の人たちにサビーナに関わってもらい、イタリアのこうした考えが蛭池の地域に根付いていけばと思っている。

イタリア人の人生観や人間観というのは、具体的に言うとうどういうものなんでしょうか。

松本 子どもの教育で言えば、「責任感の強い大人、自立した精神を育てる」そして、「自由が大事」と教える。子どもにもモラルを教え、そして10歳位から自立心を育てる。「自由」は日本ではき違えられています、「わがまま」とは違う。ひとりひとりの自由のなかに、自分の自由もある。そして、自由は他人を害しないということ。それらを子どもに教えています。

モラルというと、「他人に迷惑をかけない」って私など思いがちですが。

松本 迷惑をかけるというと、「世間」を向いているよね。「この場でこんな発言したら場の雰囲気をおこしてしまうから、やめておこう」とか「親戚に迷惑かかるから、そういうことはやめて」とか。自由を押しつけている。そうじゃなくて、人間として幸せに生きたいという「個人の尊厳」を奪わないこと。暴力をふるったり他人の自由を侵害したりつぶすことを許さないこと。それが大切だと思う。

お話を聞いていると、自分の権利を主張するだけでなく、他者を受け入れるような人間観ですね。

松本 そう、他人の自由も認める。私のものとみんなのものが明確に分けられていること。例えば、夫婦であって

も、相手に許可や断りなく、相手のボールペンひとつ持つていくなんてことは許されない。

つい、「ええやん、家族なんやから」とか「夫婦やのに」って思っちゃいますよね。

松本 そのへんが日本の文化とは違いますね。

個人の尊厳や自立を大事にする、そんな文化が地域に根付いたら、きっといろんな人が生きやすくなるだろうなと思いますが、時間かかりそうですよね。

松本 そりゃかかる！僕もわかるまで20年以上かかった。それでも、娘にまだ指摘されたりします。自分のなかにある固まった考え方とかに気づいて、ひとつひとつはがしていった。

サビーナで「自由」「個人」「社会」「正義」「モラル」を学んで欲しい。それを土台にしながら、地域にいい影響を与えられたらなと思っています。

谷川さんのお話

サビーナさん、松本さんとの出会いのきっかけは？

谷川 きっかけは、私の姉です。姉は音楽の仕事で松本さんと関わり始め、彼女の音楽がイタリアへ行って変わったんです。3年前、姉に「イタリアへ一緒に行こう」と誘われて、2年前にも行って。そして、松本さんと色々な話をして、ディエゴ一家と過ごして、「なんでこんなに楽なの?」「なんでこんなに居心地がいいの?」と思いました。そして、しばらくして松本さんに「サビーナで働かないか」と誘われたんです。松本さんに「どうやって生きるか、どうやって人と向き合うかが音楽をするのに大事」と言われ、当時はそんなにわからなかったけど、働き始めました。

その意味はわかるようになりましたか？

谷川 そうですね。ここで働く意味がわかり始めました。例えば大きな企業で働くと、利益優先で「ひと」としてみてくれない。人間関係を気にして意見を言えなかったりする。サビーナではそれがいいんです。松本さん始め、代表の福島さんや山本さんなど、価値観が違う人がいっぱいいて、どうやってコミュニケーションをとるか、すごく考えました。今まで私にとって「仕事」とはお金を稼いだり技術を習得することが目的だった。それが自分のプラスになると思っていた。けど、サビーナで働くようになって、もっと大切なものを得ています。それは「自分が変わらないとわからない」「問題を解決しないとわからない」ということなのだと思います。

入居されて3ヶ月以上経ちましたね。

谷川 最初、4階は私ひとりで寂しかったです。けど、9月からe-スローライフさん、mway68さんが入居されてきて、とても嬉しかったです。廊下で会って話をするのが

とても大きかったです。感謝しています。

入居してから、事業は順調ですか？

谷川 そうですね。7月に大きなイベント事業があったので、その後処理が大変でした。また秋から料理教室や銀細工教室、クリスマスコンサートなどが続きます。

語学教室はずっと続けて来られていますよね。

谷川 そうですね。定着する生徒さんばかりが残りました。レッスンが終わってから、生徒さんと私でお茶を飲みながら話をしています。家庭のこと、仕事のこと。それが互いを知る大事な時間になっています。教室の後のコミュニケーションを大事にしています。

取材を終えて 料理やスローフード、音楽やファッション。松本さんがおっしゃったように、日本でもイタリアが広く認知され「かっこいい」と雑誌などでもよく取り上げられます。しかし、その「かっこよさ」の根っこにあるのは、イタリアの人たちの人間観や人生観だったということが、おふたりにお話を伺ってよくわかりました。

イタリア生活文化交流協会（サビーナ）

【事業概要】

1. ネイティブによるイタリア語教室
2. イタリアとの音楽交流事業
3. 料理教室
4. 生涯学習研究事業の開催
5. 生活雑貨のバザールの開催
6. イタリア生活文化交流ツアー

電話 06-6844-8787 FAX 06-6844-8788

e-mail hotaru@sabina-net.jp

URL <http://www.sabina-net.jp/>

ご近所さん紹介コーナー④ お食事処 三幸さん

ご近所さん紹介コーナー。今回は、入居者のみなさまおなじみの三幸（みゆき）さんです。お話は、おかみさん（下の写真。左の美しい方です）からお伺いしました。



お店の入り口です。



左からご夫婦と息子さん。

では、「三幸物語」のはじまり～！

■ 過去

三幸以前 >>>>

昭和32年（1957年）に蛸池駅前前で店を始めて、軌道に乗るまでが大変だった。万博の年（昭和45（1970）年）に結婚して、そこから閑空ができるまで良かったな。それまでは、阪急電車の小さい踏み切り前に店があって、モノレールが通るので立ち退きに成った。蛸池中央市場も、その頃は人がわんさかいてた。1日に2000人も人が来てたからね。

以前はすし屋。その昔は飲み屋をやってた。蛸池は、キャバレーやダンスホールが空港線に並んでいたけど、米軍が引き上げた後は殺風景でね。

キャバレーやダンスホールが空港線に並んでいた頃は、お義母さんなんか、ママさんみたいでね、「結婚したら私もあんなでできるんや」思ってたら、長靴はいてずっと洗い物してた（笑い）。

大阪空港国際線なくなる >>>>

1年くらいは影響感じなかったけど。でも、どんどん売り上げが落ち込む一方。空港で働く人たちがお客さんの主流やったからね。影響は大きかった。モノレールが空港まで延びてからは、蛸池に人が降りなくなったしね。今は最悪やね。

現在

今の店舗へ >>>>

商店街がなくなり、ルシオーレができた（注：平成15年（2003年）3月竣工）。ルシオーレに入った店あり、商売やめた店ありやね。うちは、条件や店舗の場所などで折り合わず、結局以前倉庫に使っていたところを今の店にした。今の店舗でいいのは、2階が使えるところやね。少年野球のお父さんお母さん達や団体さん25人くらいなら大丈夫やからね。お客さんは、お馴染みさんが続けて来て下さってる。長いこと商売しているから、それがうれしいね。

趣き変わる商店街 >>

個人店同士はね、仲良くやってるよ。照月さんや、魚屋さん（ルシオーレ1階）とか、たる谷さん。けど、2代目3代目がでてこない。うちは今息子がそばやうどん打ってくれて、親子3代やけど。でも自分で何かしたい言うてるし。押し付けるのはイヤだし、かわいそうだからね。

先日、住吉神社の秋祭りがあったね。御みこしがたった一つだけで驚いた。商店街があったら賑やかやけど。ルシオーレになって、ビルの中に入ってしまったら誰も出てこない。「何のために、一緒にお祭りするの？」って意見もてくる。昔と随分変わったね。

■ 未 来

これまでは、年寄りがかんばってきたけど、今まちを盛り上げる若い人がないね。人を惹きつけるイベントとか、何かしなくてはいけない。そういうのがあったら、人が寄ってくる。例えば、子どもが楽しめるイベントやったら、親もついてくるんだから。そういうこと、やらないとね。

最後に...三幸さんお勧めメニュー！

お昼>>>>

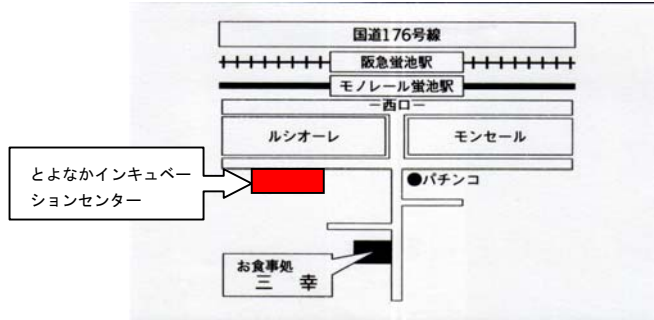
夏の天ざるうどん（細めん！）や天井が人気。定食も種類が豊富。値段とボリュームでサービスしてます。

夜>>>>

定番の家庭料理。年配の人が多からね。よく来てくれる単身赴任のお客さんには、「これも食べや。野菜も食べや」なんて言ってます（笑い）。

取材を終えて

「景気いい頃、いい目したのは男の人だけ！」と笑いながら話してくれたおかみさん（ちゃんと書きましたからね！）。結婚して36年。ご家族で商売をされてきて、いろんなご苦労があったそうです。でも今は、娘さん、息子さんにそれぞれお孫さんがいて、幸せとおっしゃってました。掲載しきれなかったお話もたくさんありました。お時間とって下さったのに、ごめんなさい。今度は、次世代を担う(?)息子さんのお話きいてみたいな、と思いました。ありがとうございました。



お食事処 三 幸

〒560-0033 豊中市蛍池中町 3-10-3

電話 06-6853-6104

前回(10/13)のランチ会報告



この日のテーマは「ただ、ただしゃべりましょう！」ほんとに「ただしゃべる」楽しいランチタイム。写真を見ていただければ、よくわかりますよね。話題は、先日入居者さんが行かれた釣りのお話。「センターで行こうか！」と盛り上がりました。

わっしょい! わっしょい!



10月19日(水) 何やら外がにぎやかに...。蛍池文化幼稚園の子どもたちと先生との子ども神輿でした。子どもに人気の「ポケモン神輿」もありました。

入 居 者 ニ ュ ー ス

スローライフさくら...福祉用具レンタル・販売、介護保険住宅改修を承っております。電話 06-6840-2255 までお気軽にどうぞ。URL <http://www.e-sakurasaku.jp/>

ほたる企画...イベントプロデュース、個人商店応援の事業展開中。お問合せは電話 06-6840-5656 まで。

イタリア生活文化交流協会...10月25日(火)イタリア家庭料理教室、11月24日(木)銀細工講座、12月クリスマスコンサートを予定しています。詳しくは電話 06-6844-8787 まで。HPが新しくなりました。ぜひアクセスください。URL <http://www.sabina-net.jp/>

★(有) **e スローライフ**...旅行業法に基づく旅行業や国際交流事業、スポーツに関するマネジメント事業やイベント企画などを承ります。電話 06-6858-0104 まで。

★**mway68**...小規模サイト向けの低価格のホームページ作成、また、更新が簡単なホームページの構築を承ります。メールアドレス info@mway68.com までお気軽にどうぞ。

センターからのおしらせ

11月以降の予定

ランチ会...11月10日(木) 24日(木)

起業家研究会...11月16日(水) 午後7時より。

コミュニティビジネス入門講座(千里...12月10日(土))
講師は永井美佳さん((社福)大阪ボランティア協会 NPO推進センター)です。

詳細は後日 HP にてお知らせします。

URL <http://www.toyonaka-incu.com>